

7月4日（月） 節電に向けて

先週は6月としては記録的な暑さを記録しました。思いのほか気温が上がり、暑い日が続きましたね。そんな中、いよいよ7月からは節電＝電気を大切に使うことがより一層求められます。なぜ日本中の人々が節電をしなくてはならないかはわかっていますか。ニュースやお家の人、先生からのお話で知っていると思いますが、3月に起きた東日本大震災の影響により、皆さんの住んでいる東京都を含め、今年の夏は生活していくために必要な電力が足りなくなると言われています。そこで、江戸川区でも区民の皆さんに節電の協力をお願いしています。もし、電気が不足すると停電ということになり、電気製品が使えなくなるだけではなく、電車は動かなくなり、町中が真っ暗になることも考えられます。そして日本中に大きな影響が出ると言われています。そこで西葛西小学校でもできる限り、節電を行って限りある電気を大切に使っています。例えば、廊下、職員室、校長室の蛍光灯の数を減らしたり、冷房をなるべく使わないようにしたり、28℃という設定温度を守ったりしています。知っている人も多くいると思いますが、校長室もできるだけ蛍光灯を使わず、冷房をつけずに毎日過ごしています。先日、あるクラスの先生から「冷房をつけようか。」と話しをしたら子供たちから「節電をしなくちゃいけないからつけない。」という答えが返ってきたという話を聞きました。設定温度を守れば、教室で冷房を使うことは構いませんが、その心がけが素晴らしいなと思いました。皆さんの健康に影響がでない範囲で努力をしてみましょう。教室で無駄な電気を使っていないかもう一度先生と振り返ってみてください。例えば、休み時間で必要がなければ電気を消すなどの取り組みでもいいと思います。

さて、先日全校の皆さんに「がんばろう日本 節電アクション月間」という資料が配られました。7月から9月までの3ヶ月間、家庭で皆さんはどんな節電ができるか取り組んでもらいたいという目的で配られたものです。東京都の小学校、中学校、高校の児童・生徒が全員受け取っています。この中に、節電のためにできこととして10の項目があります。

「冷房の設定温度を高めにする。」設定温度を2℃高めに設定するだけでやく10%の節電ができるそうです。

「冷蔵庫の温度設定を弱くし、ドアを開ける時間を短くする、ものを詰め込み過ぎないようにする」だけで約2%の節電が期待できるそうです。今回の節電を最も求められている時間帯は朝の9時から夜の8時までです。ですから今月の家庭での節電は学校から家に帰った時間から夜までの時間を中心に見直すことが大切です。また、みんなが昼間学校に来ている間にも待機電力といって電気製品は電気を使っています。コンセントから線を抜いて無駄な電力を使わないことも立派な節電につながるそうです。

今日はたくさん節電したから、明日はやらなくてもいいということはありません。毎日続けることが大切です。ぜひお家の人とも相談をして今日からすぐにできることを行っていきましょう。

